

JA
うらほろ

2023
11
No.685



JAうらほろ感謝祭

る感謝祭



林組合長挨拶の様子

10月28日、農業会館前特設会場で「JAうらほろ感謝祭」を開催しました。
この日は、少し肌寒いものの、風もなく晴折太陽が顔を出す天候で各ブース来場者で賑わっていました。
来場者には浦幌町のマスコットキャラクター「ウラハ」と「ホロマ」が特別にプリントされた、浦幌町産の絹手亡を原材料として製造されている株式会社青木松風庵の「月化粧」と、浦幌町の白花豆を使った「白花豆カレー」が限定プレゼントされました。
農畜産物コーナーでは、馬鈴しょ・玉ねぎ・さつまいもの詰め放題の他、大根、ごぼう、長ネギ、かぼちゃ、金時豆、小豆やうらほろ和牛ハンバーグ、クリームチーズが販売されました。



ドローンサッカーを体験している子どもたち



玉ねぎ・馬鈴しょ・さつまいも詰め放題の様子

今回は株式会社サングリーン太陽園の協力により、子どもたちを対象とした「ドローンサッカー体験会」を実施しました。
農業会館2階大会議室に特設スタジアムを設置し、インストラクターにより基本操作の説明や得点を取るためのコツなどがレクチャーされました。
体験した子どもたちは、思うように操作ができず苦戦していましたが、徐々にコツをつかみ白熱した戦いが繰り広げられました。



スタッドレスタイヤ販売の様子

JAうらほ



大型農業機械の展示

生産資材品コーナーでは、スタッドレスタイヤをはじめ電動工具やドライブレコーダーなどが展示販売されました。中でも、スタッドレスタイヤは予約注文が多数あったほか、キャンペーンなどのアウトドアブームの影響もありマキタの商品などが多数販売され大盛況でした。

展示コーナーでは営農サポート課の大型コンバイン、(株)北海道クボタと(株)キセキ北海道のトラクターの展示などが行なわれ、家族連れの来場者が子どもを乗せて写真を撮影し、終始和やかな雰囲気でした。



生産資材コーナーの様子

飲食コーナーでは今回が初めてとなる、キッチンカーに出店を依頼しました。十勝産牛肉を使用したステーキ丼販売の「肉と米」をはじめ、SNS映えするクレープ販売の「MISORA」、十勝産いちごを使用したスムージー販売の「Beliveggy」、帯広に店舗を構え、カレー販売を行なっている「アパッチのお友達」、浦幌産のタコを使用したたこ焼きの「神だこ」のキッチンカー5台に出店して頂きました。

どのキッチンカーも大人から子どもまで大人気で、大盛況でした。



キッチンカー出店の様子



よりぞうとの記念撮影の様子

信用部防犯研修・防犯訓練



防犯研修の様子



緊張感のある模擬訓練の様子

10月5日、農業会館役員室で融資課、貯金課、上浦幌支所管
理課の職員を対象に防犯研修会を行いました。

研修会は、浅利信用部長と初沢融資課長が講師となり令和5
年上半期に発生した強盗事件を事例に沿って説明・解説が行な
われたほか、相談苦情等についての対応をまとめた動画を視聴
し、万が一の場合に備えた対処方法を再確認しました。

10月6日には上浦幌支所金融窓口にて、「取引先を装った強
盗犯」を想定した模擬訓練が行われました。

名刺交換を装い要求内容が書かれたメモ用紙を渡し、銃を取
り出して現金を奪うという内容でしたが、金融窓口職員はJA
うらほろ防犯マニュアルに基づき冷静に対応しました。

当JAでは、今後も定期的に防犯研修及び防犯訓練を実施し、
金融窓口職員の防犯意識の向上を図ってまいります。



第8回 理事会



10月27日、役員室において理事会を開催し、議案5件について決議され、原
案通り承認されました。

○議案

- ・マネー・ローンダリング等への対応に関する基本方針等の改正について
- ・令和5年産小麦受入数量及び製品・規格外出来高内訳(確定)及び概算払い
について
- ・令和5年産原料てん菜の取扱い及び概算支払いについて
- ・令和5年産大豆の取扱いについて
- ・共同計算の最終精算について 令和4年産 種馬鈴しよ

○報告事項

△総務部▽

- ・組合員の脱退について
 - ・人事の発令について
 - ・永年勤続職員表彰実施要領の一部改正について
 - ・固定資産の取得について
 - ・管理課 緑町共同住宅灯油燃転工事
 - ・固定資産の取得について
 - ・企画振興課 令和5年度鳥獣被害防止施設(電気柵)
令和5年度浦幌町小規模暗渠排水事業 第2工区並びに第3工区の設計変
更について
 - ・不祥事ゼロ運動における現金・棚卸資産管理の自主点検結果報告について
 - ・浦幌トラック(株) 第2四半期(9月末)事業実績について
 - ・令和5年度 農事組合長研修視察の行程について
 - ・令和5年度9月末決算について
- #### △信用部▽
- ・反社会的勢力排除対応管理先対処方針について
 - ・共済業務に係る相談・苦情等対応状況について
- #### △営業販売部▽
- ・農産動向について
 - ・生乳生産動向について
- #### △その他▽
- ・内部監査報告について(現金・棚卸資産、共同計算(種子馬鈴薯))

人事異動

○退職(令和5年9月30日付け)

高田 大地(上浦幌支所 農産課農産係)

青年部活動（背戸田達弥部長）

子ども農業体験学習



馬鈴しょ収穫の様子

9月25日、浦幌小学校（鈴木洋孝校長）で3年生28名を対象とした子ども農業体験学習を開催しました。
今回は6月に播種したホッカイコガネとメークインの収穫と、白花豆の根切りを行ないました。当日は背戸田部長より馬鈴しょ収穫のポイント等の説明があり、児童たちにより元気よく収穫作業が行なわれました。



白花豆の根切りを行なう児童たち

また、白花豆の根切りでは川畑担当理事からどの根を切れば良いかなどの説明が行なわれ、児童たちは熱心に根切りをする根を探していました。
今後は、TOKOROCafeで児童たちが収穫した馬鈴しょと白花豆を使用した料理を堪能するお食事が開催される予定です。



講習会の様子

10月25日、ホクレン肥料（株）本社営業企画部 中津智史特任技監を講師としてお招きし、土壌断面に係る講習会と現地調査を行ないました。
講習会では「土壌の基礎知識と排水性改善」、「馬鈴しょの栽培のポイント」をテーマに北海道や浦幌町の土壌の特徴や簡易耕（プラウレス）についてご講話いただきました。
現地調査では、円山地区と活

ほ場断面調査



現地調査の様子

平地区の2ほ場で約1メートルの穴を掘り、中津特任技監にご説明いただきながら、土壌断面の特徴を確認しました。盟友の手で穴を掘り進めることで、土質や土壌層を見ながら確認することができ、非常に有意義な現地調査となりました。
この取り組みは来年度も継続して実施し、豆類収穫後のほ場や草地などを候補とした土壌断面調査を行なう予定です。

ビート収穫作業開始



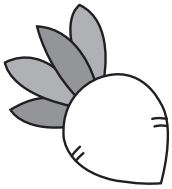
上浦幌地区ビート収穫の様子

ビートの収穫作業が本格化し、本所地区の早出し分で10月5日から始まり、10月10日より上浦幌地区から通常輸送も開始しました。

今年度から北海道糖業株式会社本別事業所と日本甜菜製糖株式会社芽室製糖所の2か所への搬入となり、昨年より2日



本所地区ビート収穫の様子



早く輸送が始まりました。

今年度の浦幌町の作付面積は1,299・7haで昨年度より約179ha減少しており、輸送終了予定日は11月29日となっています。

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS 日本農業新聞 電子版

新聞よりお得！
月額料金 **2,403円** (税込)

電子版でできること

いつでも、どこでも
スマホやタブレットで、情報収集ができます。

過去記事検索が30日分
見逃した記事もさかのぼって読むことができます。

クリップ機能で記事を保存
気になる記事を最大200件まで保存できます。

閲覧期間が7日分から
30日分に大幅拡大

紙面ビューアーの特長

読みやすさ、そのまま
いつもの紙面と同じレイアウトです。

文字を大きく
紙面を拡大・縮小できます。

紙面丸ごと印刷できる
大事な記事の保存やスクラップに役立ちます。

net 7/7市況

青果(野菜・果実)、花、畜産などの全国主要市場での取引結果を即日公開します。



機能と使い方



Q&A (よくある質問)



- 初回のみ、購読開始月は月末までの料金がかかりません(無料期間中の解約はできません)。
- 電子版は個人向けサービスです。法人プランはございません。なお、法人代表者が個人でお申し込みいただくことは可能です。

電子版のお問い合わせやお申し込みは、お近くのJAまでご相談ください。

農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 樽 井 功



昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で76年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

新型コロナウイルス感染症の位置付けは本年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっています。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

J Aグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいかなければなりません。

この厳しい時代だからこそ、国民が必要とし消費する食料はできるだけその国で生産する「国消国産」という考え方は、消費者に知っていただきたい大切なテーマであり、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日、さらに1981年に国連が「世界食料デー」に定めた日である10月16日を、「国消国産の日」として制定し、令和3年に日本記念日協会に登録しました。

今こそ、この国消国産の周知、さらにはJ A北海道大会で確認された550万人サポーターづくりを推進するべく、J Aグループ北海道が一体となって「アグリアクション北海道」と題した統一した取り組みをしっかりと実践することが必要となります。

最後になりますが、J Aグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJ Aの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

新パズル(11月)

サ	ニ	シ	タ	ミ	□	カ	ス	キ
バ	ワ	ハ	ス	タ	コ	グ	レ	ズ
イ	タ	ラ	ナ	ケ	フ	チ	マ	ス
ハ	カ	ゴ	ド	マ	ト	ナ	ヤ	ン
モ	フ	ジ	ナ	ワ	コ	ウ	キ	シ
ホ	ヨ	ガ	カ	ズ	ノ	コ	ダ	ニ
ウ	ツ	サ	ラ	イ	シ	エ	タ	ラ
オ	ギ	ケ	ヨ	ヒ	□	ナ	イ	ジ
イ	ラ	ア	サ	リ	ス	ル	メ	ク

鯛(アサリ)、鰯(アラ)、鯰(イナ)、鰯(イワシ)、鱈(エイ)、鰺(カジカ)、鯉(カズノコ)、鱈(カラスミ)、鯉(キス)、鯨(クジラ)、鯉(コチ)、鯉(コノシロ)、鯉(サケ)、鯉(サバ)、鯉(サヨリ)、鯉(サワラ)、鯉(シイラ)、鯉(シヤチ)、鯉(スケトウダラ)、鯉(スズキ)、鯉(スルメ)、鯉(タナゴ)、鯉(ドジョウ)、鯉(ナマズ)、鯉(ニシン)、鯉(ハタハタ)、鯉(ハモ)、鯉(ハラゴ)、鯉(ヒシコ)、鯉(フカ)、鯉(フグ)、鯉(ホッケ)、鯉(マグロ)、鯉(マナカツオ)、鯉(メイタダキ)、鯉(ワカサギ)、鯉(ワニ)

□解き方

回転寿司等のお寿司屋さんのお湯飲み茶碗にはよく「魚偏」の漢字一覧が書かれています。今回はそれを真似てみましたが、使わなかった文字を左上から並べてできる「魚偏」の魚を探してください。

□発表

正解は本紙12月号に掲載します。

※ご意見ご要望等ございましたら、企画振興課教育情報係までお問合せ下さい。
(TEL: 578-7068)

ジ	ス	ミ	コ	カ	イ	ノ	ミ	バ
ブ	レ	ノ	シ	ズ	リ	マ	ラ	サ
ツ	キ	ラ	キ	ン	ン	シ	ン	シ
ブ	ア	セ	ザ	コ	イ	カ	ブ	セ
ギ	ト	リ	コ	ブ	ク	ロ	ー	ス
ツ	ウ	レ	ブ	カ	ト	ウ	ー	ノ
ラ	ガ	イ	チ	ポ	ル	ン	バ	サ
ミ	ラ	ハ	ヤ	チ	シ	ビ	レ	ド
ス	シ	ジ	ン	ヤ	チ	ツ	テ	ヒ

10月号の答えは ANSWER
コロコリ、ノドスジ
でした

あなたのうちへ

福をマネ〜く

『家の光』12月号・1月号
購読申込受付中!

1月号
別冊付録



12月号
第1・第2
別冊付録





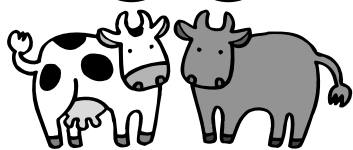
お申し込みは
お近くのJAへ

定価(税込)

- 普通月号 629円
- 付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円
- 家計簿付き12月号 1,027円

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL 03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>

ちくさん情報



詳しくは
宮農販売部
畜産課まで
お問い合わせ
下さい
☎576-4115

◎ホクレン十勝家畜市場

・育成市場 (10月12日) (単位:円)

頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
育成牛 6	258,500	130,900	208,450	196,109

・乳牛市場 (10月10日) (単位:円)

頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
初妊牛(ET) 20	566,500	330,000	407,550	400,033
初妊牛(ET) 0	0	0	0	598,510
経産牛 0	0	0	0	316,775

・乳牛市場 (10月24日) (単位:円)

頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
初妊牛(ET) 6	477,400	381,700	416,167	418,214
初妊牛(ET) 3	478,500	385,000	429,367	572,314
経産牛 0	0	0	0	323,823

次回市場 育成牛 11月16日 (農協順:16)
乳牛 11月13日 (農協順:18)
乳牛 11月28日 (農協順:8)
12月市場 育成牛 12月14日 (農協順:13)
乳牛 12月12日 (農協順:9)

・肉牛市場 (10月4日) (単位:円)

頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
和牛素牛(去勢) 71	840,400	191,400	559,637	592,947
和牛素牛(雌) 38	631,400	200,200	420,258	460,167
繁殖雌牛 1	553,300	553,300	553,300	461,564
廃用牛 3	429,000	160,600	260,700	285,330

次回市場 11月7日・21日 (農協順 黒毛:2・交雑牛:6)
12月市場 12月6日・7日 (農協順 黒毛:5・交雑牛:7)

◎ホクレン十勝枝肉市場 (10月市場平均)

(単位:kg/円)

	A-5	A-4	A-3	A-2	平均単価
和牛	2,135	1,762	1,548	1,314	2,021
交雑牛	1,856	1,617	1,346	1,118	1,486

次回市場 11月4日、11月18日、11月25日
12月市場 12月2日、12月9日

◎初生犢の集荷は、十勝中央家畜市場対応となり、下記の日程で集荷致します。

◎十勝中央家畜市場

11月開催日 2日・7日・10日・14日・17日・21日・24日・28日
12月開催日 1日・5日・8日・12日・15日・19日・22日・26日・29日

◎畜産公社出荷日 11月都度協議

◎畜産物の販売希望者は、早めに畜産課へご連絡下さい。集荷には特段のご協力をお願い致します。尚、初乳は充分与えて下さい。

◎きれいに搾って素早く冷却

◎めざせランク1 = 体細胞数30万以下、生菌数1万以下

へガンベ(トクフク)について

ガンベ(トクフク)の正式名称は皮膚糸状菌という病気で、皮膚病を引き起こすカビの一種になります。皮膚糸状菌は重篤な病気を引き起こす病気ではありませんが原因は主に2つあり、ストレス(ビタミン不足や日照不足)や体調不良による免疫力の低下が原因とされており、離乳や除角、牛群編成の変化など、体がしつかり完成するまでの子牛や育成牛は様々なストレスイベントを経験します。それに加えて、哺乳量や配合給与量の不足、親の余りエサなどの給与の影響で必要エネルギーの多

い成長期に栄養不良に陥ることにより免疫力の低下が起これます。放置してしまうと他の疾病に繋がってしまう恐れがありますので、皮膚糸状菌が発症した際には以下の確認をしていきましよう。①牛舎内が適切な温度であるか。②牛舎は適切な牛の頭数であるか。③エサの食いつみや量は適切であるか。④スタールは与えているか。適切な環境を整っているかどうか再度確認する機会をつくり、より良い哺育・育成管理に繋がっていきましよう。

◎浦幌町の乳牛頭数(搾乳農家)9月

経産牛			育成牛	合計
搾乳牛	乾乳牛	計		
4,769頭	672頭	5,441頭	2,816頭	8,257頭

◎生乳生産量(9月出荷分)

実績乳量	前年実績対比	4月~9月実績乳量	4月~9月前年対比	経産牛1日1頭当乳量
4,258 t	96.0%	26,604 t	93.2%	29.8kg

◎生乳成分と乳代単価(9月)

項目	脂肪率 %	無脂固形分率 %	単価内訳(円)			合計
			生乳単価	補給金単価	集送乳調整金	
平均						
浦幌町	3.78	8.75	108.78	6.13	1.87	116.78
十勝	3.84	8.70	109.13	6.13	1.87	117.13
全道	3.90	8.71	109.63	6.13	1.87	117.63

※乳代について(令和2年4月分より共販経費控除前の金額を使用しております。)

◎衛生的乳質検査結果(9月)

ランク	生菌数			体細胞数	戸数
	1	2	3	1	
浦幌町	106 (90.5)	9 (7.6)	2 (1.9)	72 (73.4)	39
十勝	2,885 (96.4)	96 (3.2)	10 (0.4)	2,387 (85.9)	998
全道	13,027 (95.5)	576 (4.2)	32 (0.3)	9,767 (79.8)	4,549

上段は3旬計の件数・下段()は%

避難訓練を実施



館内放送で火災発生を連絡する外崎主査



出火場所確認を行なう初期消火係



避難して整列する職員



講評を行なう高橋総務部長

編集後記

収穫作業も終盤に差し掛かり、今年も残すところあと少しとなりました。
今月号にも掲載していますが、JAうらほろ感謝祭を開催しました。
今年度で3回目の開催となった感謝祭は、初めて天候に恵まれ、来場者も過去最高となりました。今回初めてとなった、キッチンカーの出店では、急遽の依頼にもかかわらず、快諾頂きましたことこの場を借りて感謝申し上げます。
11月に入り、より冷え込むことが予想されますので体調管理には十分に気を付けていただくとともに、農作業での怪我や事故には十分にご注意ください。よろしくお願いいたします。

カレンダー

※ 行事日程は変更になる場合があります。

日	事項
11/11	コンプライアンス研修～12日
20	農事組合長研修～21日
27	十勝地区農協監事協議会 視察研修～28日
28	農業委員会総会
29	第9回理事会
12/7	第2回農事組合長会議
8	令和5年度東部十勝JA役員研修会～9日